にわうるし

柴田学園報
第17号（年2回発行）
題字：吉澤秀香

□発行　学校法人柴田学園　〒036-8503　青森県弘前市上瓦ヶ町25番地　☎0172-32-6151

柴田女子高等学校 2019年度から男女共学化へ

－特　集－
男女共学化へ向けて
6ページ

新たな校名は
「柴田学園高等学校」

平成30年6月8日の記者会見において、新校名と新しい制服のデザイン画（写真右下）を発表する中村光宏校長

東北女子大学
学長就任にあたって

学長　今村吉彦

昨年度末ご退任の小澤熹前学長の後を受けて、4月1日付で東北女子大学長に就任いたしました。

先ず申し述べたいのは、平成15年より15年間に亘り家政学部長・学長として本大学を支えて下さった小澤熹先生への感謝であります。特に、平成27年度に管理栄養士養成課程である健康栄養学科を開設できたのは、先生のご尽力の賜物だと感じております。私も微力ではございますが、学長としての職責を果たすべく力を尽くしてまいりたいと思います。

またこの度の学長就任は法人理事長、東北女子短期大学長、東北栄養専門学校・東北コンピュータ専門学校長と併任の形となるため、フルタイムで大学に勤務することはかないませんが、東北女子大学が今日まで積み重ねてきた伝統と教育成果を心に刻み、「常に希望をいだき時代と共に歩め」の建学の精神のもと、高等教育機関としての責務を果たしていきたいと思います。

さて日本はいま、高齢化社会を迎えて人口減少期に入り、地方から都市部への人口流出や、それに伴う教育機関の定員割れの問題、慢性的な人手不足と、相反するようなAIやロボットの進歩により職が奪われてしまう問題など、学生の将来に直結する問題が増えてきています。

このような社会情勢の中で本学学生はいま、幼児保育や初等教育での子育て支援の側面をもつ児童学科と、食育や栄養指導という健康面での支援を担う健康栄養学科において、高い学修意欲をもちながら専門分野の研究と人間形成に励んでいます。今年度は、管理栄養士を養成の中心に据えた健康栄養学科が、初めて卒業生を社会に送り出す年にあたり、4年生は3月の国家試験に向けて、さらに実力を養っているところです。

全国女子大学トップの就職率を維持している本学から、今後も地域の発展に貢献できる有能な人材を輩出すべく努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

学園TODAY

公開講座開催予定　平成30年4月～9月

東北女子大学 http://www.tojo.ac.jp
▽お問い合わせ　TEL 0172-33-2289　FAX 0172-33-2486

夏目漱石の小品　「夢十夜」をていねいに
①4月14日(土)、②6月9日(土)、③7月21日(土)、④9月22日(土)
10:30～12:00

おさかな食育クッキング　～旬の魚いただきます♪～
①5月26日(土)、②7月21日(土)、③9月22日(土)
10:30～13:30（各回40名）

Scratchでプログラミング入門
①7月14日(土)、②7月21日(土)
10:30～12:00（各回 小学3年生以上15名）

草木染布を使ったものづくり講座～身近な植物で布を染めよう～
①草木染の基本　②絞り染め
草木染布を使ったものづくり講座～染布でつくるいぬのマスコット～
③草木染布の裁断と小物づくり（マスコット用）
④いぬのマスコット製作
①7月20日(金) 18:00～19:30　②7月28日(土) 9:30～10:30
③7月28日(土) 10:30～12:30　④8月7日(火) 17:30～20:00
（各回 小学生以上8名）

東北女子短期大学 http://www.toutan.ac.jp
▽お問い合わせ　TEL 0172-32-6151　FAX 0172-32-6153

浴衣の着付けを習ってお出かけしましょう
6月16日(土) 13:00～15:00（高校生10名）

手軽にできるストレッチング～心も身体もリフレッシュしませんか～
6月23日(土) 10:00～11:30（15名）

「つまみ細工」をしてみませんか
①6月23日(土)、②6月30日(土) 9:00～11:30（各回22名）

親子で満喫　東短講座Ⅱ
A ママコース　子育て世代へ「伝えたいおいしい津軽のおかず」
B おこさまコース　「伝承遊びと夏の遊びを楽しもう!」
7月21日(土) 9:30～12:30（20組）

絵本の読み聞かせ講座
9月1日(土) 10:00～11:00（高校生対象）

離乳食の基本と応用(2)～家庭で活かせるアドバイス～
9月1日(土) 10:00～13:00（保育施設の給食担当者30名）

高校生対象公開講座　※AO入試エントリー対応
①「食べ物のふしぎとサイエンス」
ジャガイモの褐変とその防止方法を実験してみよう!!
②「少子化問題ってなに?」
～子どもの数が少なくなると何が困るのか～
①6月16日(土) 10:00～11:30　②6月16日(土) 10:00～11:00

東北栄養専門学校 http://www.tcomp.ac.jp/eisen/
▽お問い合わせ　TEL 0172-32-6152　FAX 0172-32-6155

「食事でコレステロールや中性脂肪を下げたいけれど」～脂質異常症といわれたら～
8月4日(土) 9:00～12:00（一般・高校生30名）

学園TODAY

学園トップをきって
女子大が学年対抗大運動会

5月19日、女子大では体育大会実行委員会と学友会執行委員会が中心になり、「光輝～駆け抜けろこの一瞬を～」をスローガンに、学年対抗大運動会を開催しました。当日は雨天のため体育館での実施となりました。

学生委員長大島義晴先生の激励で競技を開始。球技を含めた6種目で大きな盛り上がりをみせました。各学年ともチームワークを発揮し、一丸となって競い合いましたが、優勝を飾ったのは3年生チーム。爽やかな汗と充実した笑顔に溢れた一日となりました。

華麗なレイアップシュート

また、短大は6月13日に「全学スポーツ・レク大会」を岩木山総合運動公園体育館で開催。全6種目を競い、優勝は保育科1年！

女子大・短大ともに熱気溢れる応援と、学生の気迫あるプレーで盛り上がり、新入生も笑顔でとけこんでいました。

9月には柴田女子高等学校と幼稚園の運動会が行われる予定です。

熱戦で盛り上がった綱引き

真剣に勝負することを誓います！

大学 山の家研修
学生相互の交流を深める

5/22～5/23
6/5～6/6

初夏の暑さが感じられる5月下旬から、児童学科と健康栄養学科の1年生が、百沢にあるヴィラ柴田において合宿研修を行いました。

健康栄養学科ではりんごの体験や、嶽温泉の「山のホテル」でマタギ飯をご園に出向き、摘果作業食べるなど、弘前の文化に触れながら親睦の輪を広げていました。

両学科とも夕食作りでは笑い声が絶えず、レクリエーションのお絵かきリレーやビンゴ大会でも大盛り上がり。学生と教員で楽しい時間を過ごし、お互いの距離がぐっと身近に感じられる研修となりました。

《今後の研修予定》
・短大・栄専　9/13～9/14
・短大　6/28～6/30
・7/13～7/14

大量調理に苦戦する児童学科の学生たち

学校法人 柴田学園　INFORMATION

■柴田学園本部	〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町25番地	☎0172-32-6151	E-mail shibahonbu1923@diamond.broba.cc	理事長　今村吉彦
■東北女子大学	〒036-8530 弘前市清原1丁目1番地16	☎0172-33-2289	E-mail zimu@tojo.ac.jp	学長　今村吉彦
■東北女子短期大学	〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町25番地	☎0172-32-6151	E-mail gakumuka@toutan.ac.jp	学長　今村吉彦
■東北栄養専門学校	〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町12番地1	☎0172-32-6152	E-mail eisen@tcomp.ac.jp	校長　今村吉彦
■東北コンピュータ専門学校	〒036-8503 弘前市上瓦ヶ町12番地1	☎0172-32-6154	E-mail comp@tcomp.ac.jp	校長　今村吉彦
■柴田女子高等学校	〒036-8154 弘前市豊原1丁目2番地1	☎0172-32-0135	E-mail kanri@shibajo.ed.jp	校長　中村光宏
■柴田幼稚園	〒036-8163 弘前市清原1丁目1番地1	☎0172-32-6518	E-mail shibayo1@jomon.ne.jp	園長　神　恵子

編集後記

若葉の季節が過ぎ、6月に入って木々の緑がいっそう濃さを増してきました。不順な天候にもめげず、学園各校では行事や学外実習、部活動や地域交流などを順調に実施！ その充実ぶりが「学園ニュース」を通して伝われば幸いです。

特集では、2019年春から男女共学校として新しい歴史の一歩を踏み出す「柴田学園高校」の構想を速報しました。6月8日に紹介された男子・女子生徒のシックで落ち着きのある制服が、伝統を生かした新しい学校のイメージを地域にアピールしていくことでしょう。　学園報編集委員会

学園各校入学式

4月5日に東北女子大学・東北女子短期大学・東北栄養専門学校の入学式が、それぞれ各学校で行われました。

東北女子大学

健康栄養学科・児童学科合わせて70名の新入生を迎えて行われた入学式では、新入生を代表して児童学科1年三浦希さん（弘前南高校卒）が「伝統に輝く本学学生としての本分を全うします」と力強く宣誓。

これを受けて今村吉彦学長は、建学の精神と校訓に触れながら、「大学では興味の幅を広げ、自分で関心を持った学びを深めていってほしい」と式辞を述べました。

東北女子短期大学

好天に恵まれた入学式では、生活科・保育科合わせて117名が、目標を胸に学生生活のスタートを切りました。

式では、新入生を代表して保育科1年山上紅葉さん（板柳高校卒）が誓いの言葉を述べました。

続いて、今村吉彦学長が式辞で「自分の頭で考えて判断し、主体的に行動できる人として、有意義な学校生活を送ってください」と激励しました。

最後に在校生による校歌合唱の歓迎を受け、新入生は自らの夢の実現に向けた新たな学びに期待を膨らませていました。

東北栄養専門学校

東北女子短期大学50講義室において、新入生34名を迎え入学式が行われました。新入生を代表して、古川亜美菜さん（尾上総合高校卒）が宣誓しました。

新入生の中には今年度本学に委託された県の職業訓練事業「長期人材育成コース」の9名も含まれており、その成長が期待されます。

柴田女子高等学校

4月7日、同校体育館において74名の新入生を迎えて入学式が行われました。

県内外25校の中学校から入学した生徒を代表して泉桐子さん（尾上中学校卒）が宣誓。中村光宏校長は、「伝統を受け継ぎながら、主体的な学校生活を送り、新しい未来を創造していってほしい」と新入生にエールを送りました。

柴田幼稚園

4月11日、同幼稚園において入園式が行われ、33名の新入園児が付き添われて出席しました。一人一人名前を呼ばれると、笑顔で「ハーイ！」と元気に返事をしていました。

学園所属長の継承

東北女子大学長

今村吉彦先生

前任小澤熹先生ご勇退の後を受けて、柴田学園理事長今村吉彦先生が学長に就任されました。

先生は、東北女子短期大学長、東北栄養専門学校・東北コンピュータ専門学校長も兼務の多忙なスケジュールの中で、講話を通して学生に時宜をえた話題や大学生としての姿勢を伝えたり、行事に参加したりして、学生との関わりを深めています。

柴田女子高等学校長

中村光宏先生

前任森下好宣先生のご退職に伴い、後任として教頭の中村光宏先生が学校長に就任されました。

名誉教授の称号が贈られる

【東北女子大学】

小澤　熹 先生

6月1日付で前学長小澤熹先生に名誉教授の称号記を贈りました。

先生は、平成15年から東北女子大学教授に就任し、家政学部長として教育、研究活動に力を注がれました。平成18年、東北女子大学長就任後は大学組織の立て直しや教育環境の改善に尽力。平成19年からは柴田学園評議員も兼務し、学園の発展に寄与されました。

【東北女子短期大学】

西谷紀久子 先生

4月1日付で西谷紀久子先生に名誉教授の称号記を贈りました。

先生は昭和42年より幼児教育の必須科目である音楽・表現などを担当され、教育研究に尽力されました。また、柴田幼稚園長、柴田学園評議員も務め、学園の発展に寄与されました。

先生は学生に、「先輩の後ろ姿に学び、学園の良さを継承していって欲しい」と話されました。

平成29年度学校法人運営調査の結果報告

昨年10月に実施された文部科学省高等教育局による学校法人運営調査の結果が平成30年3月上旬に届きました。内容は大学、短大共に教学面の指摘は無く、運営面改善の指摘がありました。また、重要な指導・助言事項として、「監事の監査を支援するための事務体制等を整え、監査の充実を図ること」「役員の退職金規程の整備を進めること」の二つについて回答が求められています。そのほか、役員構成について、教学側や学外の意向が適切に反映しうる体制づくりを行うことや情報公開の充実についての助言がありました。

このことは平成30年3月開催の評議員会・理事会において報告され、学園では改善に向けた取り組みを早急に行い、7月中に回答を行う予定です。

エッセー

ひととき

男時と女時

東北女子短期大学
教授　笹森雅子

世阿弥の『風姿花伝』に次のような一節があります。

「去年盛りあらば、今年は花なかるべきことを知るべし。時の間にも、男時・女時とてあるべし。いかにすれども、能にも、よき時あれば、必ず悪きことまたあるべし。」

世阿弥は後文に〝男時〟とは右上がりに物事が順調に進む時であり、上昇機運なので突き進んでいくべしと説いています。一方、〝女時〟は運のつかない、調子の出ない時で、努力しても思うほどの効果は得られないため、身をひいて精進せよと言っています。

人間誰しも落ち込みやスランプは避けられませんが、世阿弥はこの〝女時〟の大切さを記しています。世阿弥自身、〝女時〟に抵抗するでもなく、逃れるでもなく、じっくりとつきあい、『井筒』や『融』のような玲瓏たる能が生まれたのではないでしょうか。

このように見ると、苦悩や落ち込みも私達にとって必要なものであり、また十分意味をもっているものと言えます。世阿弥ほどのレベルではありませんが、私も物事がうまくいくと、つい調子に乗りやすく、いつしか思い上がり、うぬぼれてしまう弱さをもっています。また失敗しないと、なかなか自分の本当の姿が見えてこないものです。失望や失敗の経験を通して、慎み深くあること、限界をわきまえること、待つこと等を学ぶことができます。

男性的な太陽の時間はまさに、直線的、機械的な生産と進化の時であり、先が見え、計算が先行する時間です。円環的な繰り返しの女性的な時間は月の時間であり、明るくて暗い、予測不能な未知の可能性を秘めた時間であり、物事の熟成を促す豊かな時間でもあります。〝男時〟にとらわれず、〝女時〟に心開き、向き合う姿勢は、繰り返しや停滞の中に意義を見出すものです。実際、毎日の平凡な営みは繰り返しであり、行きつ戻りつであり、停滞であったりします。

「今、落ち込み中です」「こう見えても悩みはたくさんあるんです」等々、学生のつぶやきをよく耳にします。深刻なスランプとまではいかなくとも、青春に悩みはつきものです。けれども〝女時〟を無為に過ごさず、この繰り返しこそが何かを生み、苦しみや悲しみも自分を前に進めるものであることを信じて、それぞれの道を歩んでもらいたいと願っています。そして、世代を越えて〝女時〟が生を整え生を深め、慎みをもってお互いの人生に誠の花を咲かせていけたら…と思います。

◇同窓会だより

「短大・専門学校同窓会記録誌」発刊

～昭和16年からの同窓会の歩みも紹介～

短大・専門学校同窓会では、学園創立95周年の節目である5月14日に「同窓会記録誌」を刊行しました。

本誌は柴田学園同窓会が各学校ごとに開催されることになった平成21年度から29年度までの活動を写真と共にまとめたものです。加えて昭和16年からの同窓会の歴史、歴代会長等の記録も充実しており、この発刊を機に受け継いだ絆が一層深まることが望まれます。

先輩からのメッセージ

◎東北女子大学 児童学科
平成5年卒

奥山奈菜子

卒業後、青森県で講師を経験したあと、東京の企業へ就職しましたが、子育て中に再度教採に挑戦し、33歳の時に合格して現在に至っています。

昨年度からは副校長として、子どもたちの幸せを一番に願い奮闘しています。「誰にでもどんな時も目一杯の笑顔で接する」「いつも謙虚に感謝の心を忘れない」をモットーに、大人にも子どもにも丁寧に接するよう心がけています。相手の立場を尊重し、些細なことにも「ありがとう」を伝えることで教職員が一つとなり、元気な先生たちが元気な子どもたちを育んでいけるのだと信じています。

（西東京市立田無小学校）

◎柴田女子高等学校
平成25年卒

山中星来（せいら）

高校を卒業した後、弘前大学に進学し、一時は教師を目指していましたが、大学四年の初めに、突如「人と向き合いながら社会貢献できる仕事がしたい」と思い立ち、国家公務員である検察庁事務官の職にトライすることにしました。勉強漬けの毎日でしたが、私を育ててくれた方々への感謝と、高校時代に部活動で培った諦めない精神が、私の夢を叶えてくれました。

私は現在、検察官を補佐し、証拠品の管理や罰金の徴収・前科の管理、また文書の接受や発送など、事件と向き合いながら、充実した毎日を過ごしています。

（青森地方検察庁
弘前支部検察事務官）

【総会・懇親会のお知らせ】

平成30年度の各校同窓会総会・懇親会は左記の日程を予定しております。

◆東北女子大学同窓会
9月1日（土）13時30分～
サラマンジェ・ドゥ・シェモア
（弘前市外崎 1-3-12）

◆短大・専門学校同窓会
8月25日（土）10時30分～
東北女子短期大学
（弘前市上瓦ヶ町25）

◆柴田女子高等学校同窓会
8月19日（日）11時～
レストラン・セーブル
（弘前市松森町73）

どうぞよろしく 新任紹介

A New Introduction

①最終学歴 ②前任 ③所属 ④担当教科

東北女子大学

岩井 康頼 教授
①愛知県芸術大学院
②弘前大学
③児童学科
④造形表現ほか

大髙 梨沙 副手
①東北女子大学
②新卒
③健康栄養学科

三上 玲后 事務職員
①弘前学院大学
②(株)ツルハ
③事務局

中村 悟 用務員
①弘前高等技術専門学校
②富士見総業(株)
③事務局

鈴木 美奈子 事務職員
①トラベルジャーナル旅行専門学校
②弘前大学
③事務局

東北女子短期大学

東北栄養専門学校

澤田 彩香 助手
①東北女子短期大学
②新卒
③教務・事務係

柴田女子高等学校

小笠原 菜月 常勤講師
①フェリス女学院大学
②青森市立戸山中学校
④外国語

中道 弘子 実習助手
①柴田女子高等学校
②未来屋書店
④調理実習助手

寮務職員

福士 洋子 調理員
①東北栄養専門学校
②特別養護老人ホーム緑青園
③秀芝寮

学園人事

■退職（30年3月31日）

【所属長】
東北女子大学　学長　小澤　熹
柴田女子高等学校　校長　森下　好宣

【教職員】
◇定年
短大　事務職　佐川　典昭
短大　事務職　佐々木郁子
◇任期満了等
大学　特任教授　河内見地子
短大　特任教授　西谷紀久子
短大　教授　三上　健
短大　准教授　阿保　順子
短大　講師　福士　純子
高校　教諭　工藤　順勝
大学　事務職　鳴海　純子
大学　事務職　奈良　詠子
本部　事務職　名久井留美子
大学　用務員　北畠　春樹
栄専　助手　佐藤　愛美
大学　教授　高橋　信進
大学　講師　諸岡みどり
幼稚園教諭　齊藤　久実
短大　事務職　山内　志摩
中村　光宏
柴田女子高等学校長
真野　由紀子
学園寮監長

【教職員】
中村　友是　高校教頭
石岡　礼次　短大会計課長
■昇格
江良　真衣　大学専任助手
木村　朱里　短大専任助手
三上　佳織　コン専任助手
■昇任
◇大学教授
・一戸　智之・友田　志郎
・小林　琢哉・土谷　庸
・齋藤　雅俊・石戸谷　繁
・長尾　明義・妹尾　良子
◇大学准教授
・前田　朝美・工藤　寧子
・安川由貴子・小野　昇平
・花田　裕
◇短大教授　田中　恵
◇短大准教授　兼平　友子
■異動
三上　和花　栄専教諭
熊谷　明　本部事務職員
小野寺晶子　大学事務職員
古川　幸子　短大事務職員
■再雇用
佐々木郁子　短大事務職員
■特別任用
工藤　のぶ　短大特任教授
福士　純子　短大特任講師

■就任

【所属長】
今村　吉彦
東北女子大学長

平成29年度　柴田学園決算報告

学校法人柴田学園の平成29年度決算は、5月30日開催の理事会において承認されました。

事業活動収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：千円）

		科目	決算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	953,218
		手数料	7,583
		寄付金	2,015
		経常費等補助金	317,607
		付随事業収入	2,995
		雑収入	37,116
		教育活動収入計	1,320,533
	事業活動支出の部	科目	決算
		人件費	1,163,709
		教育研究経費	381,930
		（うち減価償却額）	（167,864）
		管理経費	82,585
		（うち減価償却額）	（17,849）
		徴収不能額等	813
		教育活動支出計	1,629,037
教育活動収支差額			△308,503
教育活動外収支		科目	決算
	収入の部	受取利息・配当金	107
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	107
	支出の部	借入金等利息	6,762
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	6,762
	事業活動	教育活動外収支差額	△6,655
経常収支差額			△315,158
特別収支		科目	決算
	収入の部	資産売却差額	6,197
		その他の特別収入	5,424
		特別収入計	11,621
	支出の部	資産処分差額	384
		その他の特別支出	0
	事業活動	特別支出計	384
特別収支差額			11,237
基本金組入前当年度収支差額			△303,921
基本金組入額合計			△37,999
当年度収支差額			△341,920
前年度繰越収支差額			△4,195,314
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△4,537,233

事業活動収入計	1,332,261
事業活動支出計	1,636,183

貸借対照表

平成30年3月31日

（単位：千円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	4,560,620	固定負債	1,260,087
土地	974,910	長期借入金	305,470
建物・構築物	2,690,682	退職給与引当金	954,617
機器備品	187,959	流動負債	200,245
図書	291,389	短期借入金	37,948
特定資産	370,997	前受金	135,040
その他の固定資産	44,683	その他の流動負債	27,257
流動資産	192,799	基本金	7,830,320
現金預金	159,214	繰越収支差額	△4,537,233
その他の流動資産	33,585	純資産	3,293,087
合計	4,753,419	合計	4,753,419

特集　柴田女子高等学校 2019年度から男女共学に

新たな校名は 柴田学園高等学校

SHIBATAGAKUEN HIGH SCHOOL

3学科（普通科・家政科・情報科）は変更なし

時代と共に生き　時代と共に歩む
―確かな人間力を育む校風を創る―

柴田学園では、かねてから懸案の柴田女子高等学校の男女共学化を2019年度から実施する方針を固め、新たな校名を「柴田学園高等学校」とすることを公表した。

これは急速な少子化による入学者減少の改善と男女共同参画社会への対応を目的に行われるもので、男女生徒が安定した教育環境の下で学べるように、いま急ピッチで整備が進められている。

女子教育95年の伝統

柴田女子高等学校は1923（大正12）年に創立した弘前和洋裁縫女学校を母体に、1948（昭和23）年新制高等学校として開校されました。初代校長柴田やす先生の急逝に見舞われながらも、学業・文化・スポーツ面の教育は着実に展開されました。三代校長今村敏先生が就任後の昭和30・40年代は家庭科教育の充実期で、2度にわたる産業教育研究校の指定、家庭科クラブ研究発表の全国優勝などが続き、これに呼応して文化面でも理科クラブ、放送部が全国最優秀賞を果たしています。

またスポーツ面の活躍も全国レベルの伝統があり、近年ではバスケットボール部のウィンターカップ全国8強進出、スキー部も県トップの強豪校として君臨しています。

写真提供：陸奥新報社

男女共学化の方針を保護者にも説明

去る3月16日に柴田女子高等学校では、2019年度から男女共学化を実施することについて、保護者向けの説明会を実施しました。

その中で、これまでの入学者数の推移や生徒数増のために行ってきた対策、共学化に向けた今後の手続きなどを詳しく説明しました。

また共学化する上での対応として、「女子バスケットボールの強豪校であることから、男子バスケットボール部を発足させて強化部に指定する」「調理師免許・情報関係の資格が取得可能であることを男子中学生にもアピールする」ことなどを具体的に示しました。

保護者からは「共学は時代の流れだと思う。学校が良い方向に向かえば」という理解ある声が聞かれました。

3Dプリンタを使用した情報の授業

プロの料理人を招いた調理実習

●校長あいさつ

本校は、生徒が高い教養と正しい躾を身につける場としてふさわしい安定した教育環境を維持するため、2019年4月から「共学化」を図る方針を決め、いま準備を進めています。

本校の教育理念「教育即生活」は、共学となっても確実に受け継がれ、生徒が自立した社会人として必要な知識と気品を身につけていく、大きな指針になると思います。

今年度は、「柴田女子高等学校」として最後の一年となります。全校生徒及び教職員一丸となって、95年に及ぶ歴史と伝統を礎に、激変する時代を力強く生き抜く確かな「人間力」を身につける学びの場として、一層の発展を期して努力してまいります。

学校長　中村光宏

今後のスケジュール

来春からの共学化実施に伴う整備はすでに着々と進められています。

4月には新校名、学則、制服、施設・整備改修の方針決定、5月には文部科学省・県教育委員会への届出、6月には記者会見において共学化の基本方針を正式に公表すると共に、中学校への周知のための学校訪問や合同説明会が行われました。今後新制服の発注や校舎の改修を行い、9月には学校説明、授業・部活動体験など、受検に向けた具体的な案内をする予定です。

続く1月の推薦入検、2月の一般入検を経て、4月、校内に男子・女子生徒の明るい笑顔が揃うことを期待しましょう。

学園ニュース

弘前観桜会100周年で飛行する
ブルーインパルス（右上）大学から撮影

東北女子大学

卒業生による会社説明会が好評

今年3月卒業生の進路決定率は、家政学科（現健康栄養学科）と児童学科を合わせて98・0％でした。いま4年生は先輩に続けと、本腰を入れて活動中です。

今年も各地の人事担当者が本学を訪れています。特に関東地区の保育園では、勤務している卒業生を伴って説明会を行う機会が増えており、学生は先輩の成長した話しぶりに憧れの目で聞き入っていました。

説明をする成田汐里さん（左）と榎本春菜さん（H29.3 児童学科卒）

津軽じょんがら節など 邦楽部が訪問演奏

5月20日、「デイサービスセンター　ケアパートナー弘前」に、3年生の邦楽部員5名が演奏に出かけました。「津軽じょんがら節」などを披露し、息のあったバチさばきに、大きな拍手と声援が飛び交いました。5人は演奏の機会を得たことに感謝するとともに、今後も技術向上に努め、後輩部員の育成にも力を入れたいと話していました。

クイズを交えながら挨拶をする邦楽部部長

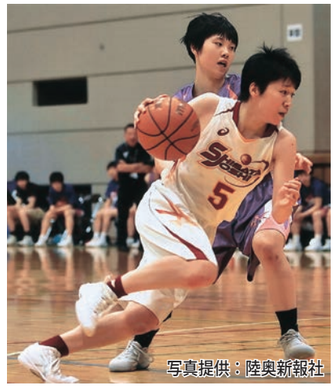
柴田女子高等学校

バスケットボール部が総体4連覇！東海インターハイへ

6月2日から行われた県高校総体において、バスケットボール部が優勝し4連覇を果たしました。

決勝の八戸学院光星高校戦では、第3クオーターまで主導権を握られ、3点のリードを許したまま迎えた第4クオーター。最後の最後で本来のプレーを取り戻したチームが、見事な逆転劇を見せてくれました。

試合後、エースの3年渡辺和恵選手は、「決勝の序盤は固くなっていたが、後半に小野コーチの指示を徹底したことで、みんなの意思が統一されてボールに執着できた」と語っていました。今後は東北大会を経て、8月2日から行われる東海インターハイに出場予定です。


写真提供：陸奥新報社
ドリブルで攻め込むエース渡辺和恵選手（3年）

【準決勝】
柴田女子 73－57 弘前実業
【決　勝】
柴田女子 64－52 八学光星

東北女子短期大学

生活科の学生が「あおもり食育検定」に挑戦

青森県は三方が海に囲まれた自然豊かな県であり、新鮮な食材に恵まれています。将来、地域に根ざした職業に就く学生も多い生活科では、地域が抱える食や健康の問題など食育に関心が高い学生が多く、今年も6月10日に、40名が「あおもり食育検定」に挑戦しました。

この検定は、青森県の農林畜水産物、郷土料理、食文化などの理解を深めることを目的として実施されています。

学生からは「改めて青森についての理解が深まり、更に興味を持つ事が出来た」という感想が聞かれ、地域を知るための良い機会となっています。

真剣に勉強する学生たち

「スキルを高めたい」絵本読み聞かせ講座開催

6月16日と23日の2日間、県立青森南高等学校の秋田敏博先生（本学児童学研究部コーチ）を講師にお迎えし、「絵本読み聞かせ講座」を開催しました。これは、読み聞かせの基礎を学びたい、自身の技能を高めたいと考えている学生に対し、本学を会場に毎年実施しているものです。

2日間の開催で児童学科1～3年生の27名が受講しました。読み聞かせをする場所の設営方法や読み手と聞き手の関係性、絵本の持ち方や見せ方・発声の方法など、すぐに実践できる内容を詳しく教えていただきました。

学生は、子どもたちと関わる今後の学外実習をイメージして、多くのことを吸収しようと目を輝かせながら学んでいました。

絵本の持ち方、見せ方を練習しています

専門学校

東北栄養専門学校
産学官連携　地元食材でスイーツの商品開発

本校では、2年生全員が地元食材を使ったスイーツの商品開発に挑戦中です。これは弘前市、大鰐町、田舎館村などが連携して行っている、弘前デザインウィーク事業の一環として依頼を受けたものです。

5月18日に地元生産者と、弘前市内の洋菓子店「アンジェリック」の一戸康彦さんを講師に招きワークショップを開催、学生から多くのアイデアが出されました。今後は試作を重ね、10月の新商品発表を目指します。

この経験を通し、考える力・表現力・説得力の重要性を肌で感じ、社会で働く力と自信を身に付けてくれることを期待しています。

写真提供：東奥日報社
それぞれアイデアを出し合う生徒たち

ファッション甲子園2018 3年連続一次審査突破！

第18回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会で、2年鎌田柚菜さんと原田有沙さんの作品が入賞し、一次審査を突破しました。全国ファッション№1を目指し、8月26日に行われる最終審査に臨みます。

作品名「Plaid」

柴田幼稚園

交通・クルマの安全を学ぶ

年長組32人が、青森朝日放送テレビで毎週火曜日23時10分から5分間放映される番組「とよぴと遊ぼう」に出演することになり、その録画どりが5月11日に西弘トヨペットで行われました。あらかじめ幼稚園で緑色の作業服に着がえた子どもたち。とよぴと一緒に交通安全を学んだり、整備士のお兄さんと一緒にタイヤのボルトを取りつける体験もしたり、目が輝いていました。この中から将来整備士さんが出るかも…。

「ボルト、ちゃんと締められるかな」

祝田先生に負けないぞ！

毎月1回行われている体育教室の担当が、今年度から「子ども体育研究所」の祝田宏治先生になりました。パワーあふれる先生の動きや言葉に引きこまれて、楽しんで動く子どもたちの歓声がホールいっぱいに広がっています。

体を動かすことが大好きな子どもたち。体操を通して、体も心も、強くたくましく成長することを願っています。

背筋をそらして、ストレッチ！

東北コンピュータ専門学校
めざせWebマスター!! 青色りんごジャムをバズらせる

本校では2年次からIT技術を応用した、実務に近い内容を学びます。

「Webデザイン」科目では、Webページの役割や、必要な要素・考え方を学ぶため、実際にある商品をバズらせる（SNS等で口コミなどを通じて話題にする）という課題に取り組んでいます。チームごとに商品のターゲットとなる年代、活用するSNS、写真やコメントの内容などについて、ディスカッションし、実際のSNSに記事を載せます。今回のテーマは「青い森の天然青色りんごジャム」。

本校のフェイスブックをご覧いただき「いいね」やコメントを書き込んでいただければ幸いです。

グループごとにプレゼン

ねんど遊びで子どもとふれあう学生

保育者のコミュニケーション能力向上をめざす実践

就職後に、子どもや保護者とスムーズにコミュニケーションが図れるようにするための研究として、学生が子どもと保護者に関わる取り組みを始めました。

5月19日、保育科2年生9名がヒロロ「こどもの広場」で、多くの家族連れとふれあう時間をもちました。各コーナーに分かれた学生は、子どもと遊ぶのに精一杯で、保護者の方と話すまで余裕がない様子でした。後半になると、ようやく「子どもさんのお名前は…？」とお父さんに話しかけたり、逆に「何年生なの？」と自分のことを聞かれたり、和やかに保護者の方と話す姿が見られました。

この取り組みを今後も続けて学生の保護者への意識や対応力の変化を記録し、島内智秋・兼平友子両先生がその成果をまとめる予定です。

Topics

51年ぶりの快挙!! 柴田女子高等学校 ソフトボール部が県春季大会優勝

5月7日、県春季大会でソフトボール部が51年ぶりに優勝旗を手にしました。準決勝では、強豪弘前中央高校を逆転で撃破し、決勝では圧巻の完封劇で黒石商業高校に勝利を収めました。

【準決勝】柴田女子 3－2 弘前中央
【決　勝】柴田女子 7－0 黒石商業

キャプテンの3年齊藤伶奈さんは「高校総体でも優勝を目指して頑張りたい」と練習を強化。また、監督の藤田憲嗣先生も「守備からリズムを作って1点を取る試合をしていく」と試合に臨みました。

残念ながら6月2日から行われた県高校総体ではベスト4でしたが、今後も春季優勝の底力を自信に更なる活躍が期待されます。

51年ぶりの春季優勝を喜ぶメンバー